

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・8月

■味噌製造業 【県内全域】

原料の値上げ、引続きの原油高騰による包装資材等の値上げが味噌の販売価格に転嫁できない。

■その他繊維製造【県内全域】

当月は取引先が夏休みのため売上減。メーカーより仕入の単価が原油高騰のため値上げの申し入れ。

■シャツ製造業

【千葉県・東京都】

7月と同じく悪い感じ。バーゲンでは勝組、負組がはっきりと別れている。

■印刷

【千葉市】

8月は全く不振。加えて用紙の値上り10%も悪影響になっている。

■生コン製造

【県内全域】

前年同期比（4月～7月）97%とトータルで減少。厳しさ続く模様。

■電気鍍金

【県内全域】

8月は夏季休暇があったた

めに売上・受注量ともに減少している。

■土砂採取業・採石業

【県内全域】

千葉県中部地区の砂利搬入企業に限り業績は回復しつつあるが、燃料単価の高騰により搬入ダンブ業者に影響がでている。

■石油製品製造業

【富津市・他】

夏場での景況には変化なし。夏場でバイオが活発であるが、実際の収益とは結びつかない。

■食肉卸売業

【県内全域】

原油高重油灯油高になりボイラー経費高で困っている。

■建築材料卸売

【県内全域】

横這いよりやや弱含み感強い。セメントは原燃料アップの転嫁値上げがかなり浸透してきた。将来展望が開けないため転業廃業を選択する店が多くなってきている。

■自動車解体業

【県内全域】

廃車の入庫はかなり悪い。多くの解体業者は玉の確保に

頭を痛めている。

■小売

【柏市】

猛暑と周辺に開店した量販店のせいか、来店客数が減っている。秋物商品も猛暑の影響を受け、出足は良くない。周辺に相次いで開店した大型店の影響が感じられる。

■小売

【東金市】

初旬は、バーゲン品の継続販売。中旬より秋物へのシフトになったが暑い夏が続いてしまった。下旬より本格的な暑さは収まったが夏が続いている。毎年厳しくなってきたが、今年はさらに厳しくなってしまった。

■小売

【野田市】

8月中旬から猛暑が続き、夏物カジュアル衣料は売上げが伸びたが、一方で秋物衣料の動きが鈍くなってしまった。

■小売

【大網白里町】

微減。当SC道路反対側に近日靴と衣料品の路面店がオープン(500㎡×2専門店)

■電気機器小売

【県内全域】

猛暑になったが、エアコンの前月比に変化なし。その他

全体的に良くない。

■中古車仕入・販売

【県内全域】

卸売市場輸出主導型に（異質の引き合い活況・タマ不足はさらに深刻）直販動向の好転も見込めない（新たな対応を余儀なくされる）

■農業機械販売整備

【県内全域】

平成18年食料自給率が13年ぶりに40%を割り39%となった。又、本年2月1日現在の販売農家は3.6%減の181万戸と減少化に歯止めがかからず、高齢化の波も止まらず、70歳以上の就農者が45%となっており、この高齢者の新品農機の購入は考えられない。

■小売・サービス【習志野市】

7月より1.5%減。昨年同月（8月）より5%増。

■小売・サービス【銚子市】

非常に悪い。

■建設揚重

【県内全域】

稼働率は下げ傾向。燃料費、タイヤ等の高騰で苦慮している。

■学習塾

【県内全域】

夏期講習受講者もほぼ例年どおりで終了。

■一般廃棄物処理業

【千葉市】

8月という事で先月よりも売上高、依頼件数共に減少していました。

各組合員も千葉市清掃工場での厳しい搬入検査にも少しずつ対応が出来るようになりました。お客様にも排出禁止物、分別等の認識ができてきたように思います。

■建設

【県内全域】

当連合会加入組合の国、県、市町村からの受注は5,360百万であった。これは前年比で500万円の減少となった。前年同月比でも1,360百万円の減少となっている。要因としては、国の発注が減少したためであった。

■貨物運送

【野田市】

車輛の不足感があり必要な台数をそろえるのに苦労することがある。しかし、運賃の値上げには至っていない。乗務員の不足も気になる。